

## 平成28年度第1回流山市生涯学習審議会会議録

### 1 日 時

平成28年5月13日（金）14時00分開会

### 2 場 所

中央公民館 講義室

### 3 議 事

- 1 生涯学習の課題と今後の事業展開について
  - ア 平成28年度生涯学習部主要事業について
  - イ 報告事項
- 2 子どもの読書活動推進計画策定の概要について
- 3 その他

### 4 出席委員

佐々木副会長 辻野委員 鈴木委員 田中委員 井田委員  
神田委員 後藤委員 藤田委員

### 5 事務局

戸部生涯学習部長 玉田生涯学習部次長兼生涯学習課長  
金子スポーツ振興課長 中西公民館長 小栗図書・博物館長  
村上公民館次長 染谷図書・博物館次長 安蒜図書・博物館図書  
係長 山本図書・博物館司書 松本生涯学習課長補佐 長岡生涯  
学習課生涯学習係長 國崎臨時職員（記録）

### 6 傍聴者 なし

### 7 会議録

14時00分開会

（事務局）

定刻になりましたので始めます。

**【事務局からの資料確認】**

事前送付資料

- ・ **資料 1** 平成 28 年流山市生涯学習審議会委員委嘱者名簿
- ・ **資料 2** 平成 28 年度生涯学習部主要事業
- ・ **資料 3** 生涯学習関連施設整備について
- ・ **資料 4** 寺村美穂選手プロフィール
- ・ **資料 5** 子ども読書活動推進計画策定の概要

本日の追加資料

- ・ 近隣市の事業状況（補助金事業、文化芸術活動等）
- ・ 審議会委員名簿

配布物

- ・ 第 58 回全国社会教育研究大会千葉大会チラシ
- ・ 平成 28 年度第 58 回全国社会教育研究大会千葉大会・第 47 回関東甲信越静社会教育研究大会・第 51 回千葉県社会教育振興大会概要

**【事務局からの報告事項】**

- ・ 審議会委員の委嘱について

今年度の学校教育関係の異動により変更がありましたので、4月28日の教育委員会議において議案を上程させていただき議決されましたので、本日5月13日付けで委嘱状を交付させていただきます。

前任の田根流山小学校長から鈴木克己おおたかの森小学校長に代わりました。また、前任の伊藤南部中学校長から田村正人東部中学校長に代わりました。

任期につきましては、本日平成28年5月13日より平成29年1月24日までの残任期間となります。なお田村校長は本日県の学校行事にて欠席とのご連絡をいただいております。

それでは鈴木先生に委嘱状を交付したいと思います。

—委嘱状交付—

(事務局)

それでは鈴木先生からご挨拶を頂きたいと思います。宜しく願い  
します。

(鈴木委員)

おおたかの森小学校の校長の鈴木と申します。よろしくお願  
いします。学校教育というところでずっと仕事をしてまいりました。  
生涯学習ということについては不慣れなこともあるのですが、お  
おおたかの森小学校にも子ども図書館やおおたかの森センターが  
ありますので、そういったところを含めてお力になれるように精  
一杯やりたいと思いますのでよろしくお願いします。

(事務局)

ありがとうございます。どうぞよろしくお願いします。  
次に行政側ですが、4月1日付けで人事異動がございましたので  
事務局の紹介をさせていただきます。

**【事務局の紹介】**

戸部生涯学習部長・玉田生涯学習部次長兼生涯学習課長・  
金子スポーツ振興課長(スポーツ振興係が本年度よりスポーツ振  
興課に行政組織変更)・中西公民館長・小栗図書・博物館長  
松本生涯学習課長補佐・村上公民館次長・染谷図書・博物館次長・  
安蒜図書・博物館図書係長・山本図書・博物館司書・長岡生涯学  
習課生涯学習係長

それでは議事に入ります。佐々木副会長お願いします。

(佐々木副会長)

はい。現在の審議委員数は12名、本日出席の委員は8名という

ことで審議会は成立いたします。

ではまず事務局から平成28年度生涯学習部主要事業についてご説明をお願いします。

(事務局)

それでは資料2の平成28年度生涯学習部主要事業と関連いたしますので、資料3の生涯学習関連施設整備について事務局からご説明したいと思います。

(事務局)

資料2をご覧ください。こちらは平成28年度の生涯学習部の主要事業と来年が流山市制50周年を迎えますのでそれを記念する事業等を含む事業をとりまとめたものです。左側が事業名、課名、内容、予算、50周年記念事業、後期基本計画の位置づけのあるなしが記載されています。それぞれ担当課からご説明申し上げます。

まず1番、特別企画展示事業ですが、内容は本市在住の日本を代表する画家後藤純男さんの作品展を開催する予定です。

昭和42年1月1日に流山市制が施行されました。平成29年1月は50年を迎え記念の年となります。そこで来年1月22日から生涯学習センターを予定しておりますが、後藤純男先生の作品の展示会を開催いたしまして50周年をお祝いするということを予定しております。

2点目は生涯学習センター整備充実事業です。こちらにつきましては、皆様にご利用いただいている生涯学習センターが一部雨漏りしておりますので、体育館の屋根の改修、トイレ、舞台のスポットライトの改修なども実施いたしまして、安全で快適に利用できるような事業を進めてまいります。

以上です。

(事務局)

スポーツ振興課からご説明いたします。

まず、7月21日総合運動公園野球場におきまして、夏期巡回ラ

ジオ体操・みんなの体操会を実施する予定です。ラジオ体操ですから、朝6時半からということで、集合は6時、市民の参加を1,000人予定しております。市制50周年記念事業として招聘いたしました。雨天の場合はキッコーマンアリーナを活用して開催する予定であります。

2つ目は流山ロードレース大会、第25回大会です。こちらでも市制50周年記念事業として開催する予定です。昨年度はおおたかの森駅を起点としましたが、今年度はキッコーマンアリーナを受け待機場所として、キッコーマンアリーナの横の道路、セントラルパーク駅のところをスタート地点としてキッコーマンアリーナの横をゴールにするというような走路に変えて実施する予定です。参加者4,000人を目標としております。実行委員会も4回目を迎えて計画、準備をしています。

次に市民総合体育館（キッコーマンアリーナ）の備品整備事業です。キッコーマンアリーナも4月から開館しておりますが、キッコーマンアリーナのメインアリーナにプロジェクタースクリーンを購入してパブリックビューイングができるような形のものを整備する予定です。夏休みの8月8日、9日にリオデジャネイロ五輪に競泳で出場する寺村美穂選手の出場レースに合わせてパブリックビューイングを実施する予定にしております。

4点目ですが、スポーツフィールド整備事業です。新川耕地スポーツフィールドの移転整備ですが、下花輪に代替地を手続きしまして、現在実施設計および開発手続きに取り組んでいます。平成29年にまたがる事業ですが、平成30年4月に利用可能になるように現在進めているところです。測量段階から実施設計の段階に移っているということです。

第5点目は北部市民プール改修整備事業ですが、こちらはプールのろ過装置が老朽化しておりますのでろ過装置の交換工事を実施する予定です。

以上です。

（事務局）

8番から10番までが公民館の事業ですのでご説明させていただきます。

8番、宝くじふるさとわくわく劇場は、50周年記念事業となります。一般財団法人自治総合センターというところがありまして、そちらで宝くじの事業をやっているのですが、そちらとタイアップして開催いたします。12月17日（土）開催予定で、内容は芸人によるお笑いステージと地元出演者によるトークなどを入れた2時間半の有料イベントを予定しております。

9番、文化会館施設整備事業ですが、文化会館に高圧変電設備というものがホールの地下室にあります。文化会館が昭和44年に開設されて以来本格的な更新を行っておりませんでしたので、全面更新工事を行うものです。更新時期は2月から3月を予定しており、その間ホールについては貸出を止めることを考えておりますが、会議室については貸出を続けたまま、できるだけ支障のないように進めていきたいと考えています。

10番目の初石公民館の施設整備改修事業については、老朽化したエレベーターの全面更新工事ということです。昭和54年開館ということでエレベーターが老朽化しております。業者にはメンテナンスを行ってもらっておりますが、部品等がなくなりこれ以上は困るというような話もありまして、こちらも冬の利用の少ない時期に工事を進めてはと考えておりますが、初石公民館と連携して進めてまいります。

以上です。

（事務局）

図書・博物館からお伝えします。

11番の森の図書館ESCO事業につきましては、空調、照明設備を省エネルギーサービスESCO事業により更新を行い、環境負荷の低減、更新コストや光熱水費の削減を開始します。

工事につきましては、平成27年11月21日から12月21日の間で空調設備の全面交換、照明のLED化を完了しておりまして、本年4月1日から年間約600万円の予算をESCO事業者を支

払い、13年間コスト削減を図るというものです。

続きまして企画展開催事業です。市制50周年を記念して50年の歩みをたどる企画展を開催し、市民の方々に流山市の過去、現在、未来に思いを馳せる機会を提供します。期間は平成28年12月10日から平成29年2月19日までを予定しています。昭和42年1月に誕生しました流山市ですが、それ以前の村、町、市へと移り変わっていくところから始めまして、その後流山市制50周年を振り返り語り合うような企画展を開催したいと思います。資料、写真等の展示を主なものとしております。

以上です。

(事務局)

続きまして資料3をご覧ください。ただいまご説明申し上げましたものは今年度の主要事業となりますが、こちらはもう少し先を見た構想といえますか、事業となります。

1点目が、おおたかの森駅前市有地活用事業と申しあげておりますが、ホテルや分譲マンションと併設で多目的ホールを整備する予定がございます。ホールといたしましては、平成31年度に開設できればということで現在設計等を行っております。内容といたしましては、500人規模の音響に配慮したホールで、そのためにリハーサル室やスタジオ等を設置します。また、観客席が平らになっており多目的なイベントや展示などといったこともできるような設えにしております。合わせてその施設の中に、現在おおたかの森ショッピングセンターの中にある出張所も移転して行政センターとして拡充するという予定です。

こちらにつきましては、おおたかの森の市有地を活用するということで市の財政負担なしに建設しようということなのです。

2点目は、南流山・木地区地域交流センターですが、こちらは全くの仮称です。南流山駅周辺、木地区は区画整理をしております、非常に人口も増えております。現在南流山センターがございますが、非常に利用が増えておまして、地域住民の交流の場として、あるいは新旧住民の交流の場として、南流山小学校の増設工事に合わせ

て、その中に地域交流センターを移設するという構想がございます。これにつきましては、詳細はまだまだなのですが、イメージとしてはおおたかの森小中学校を開設した中で、おおたかの森交流センターがあわせて開設されましたので、そこでの経験を踏まえて、どんな形で整備するのが良いか、庁内で現在検討中です。施設概要としてはおおたかの森センターとほぼ同様にホール、会議室といったものを整備して、皆様にご利用いただけるように準備を進めている段階です。

以上です。

(佐々木副会長)

それでは、ただいまご説明をいただいた資料2、3についてのご質問、ご意見はありませんか。

一つ、単純な質問ですが、生涯学習センターはいつ開設でしたか。

(事務局)

県のものとしては昭和58年4月で、平成18年に生涯学習センターとなりました。

(佐々木副会長)

ありがとうございます。あそこのエレベーターも気になったものですから。

それでは皆さん何かございませんか。

(井田委員)

すみません。予算額の見方がちょっとわからないのですが、当初予算額というのと当初前年度予算額というのは、前年度というのは平成27年度としてこのような数字が上がったのでしょうか。

(事務局)

はい。よく事業というとは継続して毎年あるような事業というものもあれば、ある年だけ行う事業があります。例えば1番の特別企画

展事業というのはこれまではなくて平成28年度に実施する事業ですので、平成27年度の当初予算では当然ゼロとなり、平成28年度はこれだけあるということです。

(井田委員)

こういう事業が急に出てきましたという訳ではなく、この年度にこれだけの予算がかかりますということですか。

(事務局)

どの年度にどの事業を実施するかということについては、後期基本計画、一番右に載せてあるのですが、そのように市全体として事業計画を作っております。この事業については平成28年度に50周年事業としてやりましようとなつて予算がつくことになります。

(井田委員)

そうしますと、今年度のみ事業であれば今年度のみ数字があがってくるということですが、5番、6番については、前年度に、1億・・・ここにある数字だけ、これだけかかっているということですね。

(事務局)

5番の市民総合体育館備品整備事業につきましては、前年度1億4千158万8千円でした。これにつきましてはスポーツ用品を整備させていただきました。プロジェクターにつきましては今年度という形で年度ごとに整備していこうということです。

(佐々木副会長)

他にありませんか。

(田中委員)

3番のラジオ体操なのですが、なぜ平日になったのですか。学校は21日から夏休みですが、普通に働いている方は平日です。朝早

いので近隣の方でしたらお仕事をされている方でも参加できると思います。流山市は夫婦共働きの方を支援している市であるのに両親と一緒に参加できないという子もいるのではないかと思います。運河の朝市をやっている方が毎年夏休みにラジオ体操をやっ  
てらっしゃるのですが、そちらは平日と土日も含めて何日間かやっ  
ていて全部参加できると朝市の100円券とかをもらえたりして  
とても楽しいのです。私もそちらの指導を何年かさせていただきましたが、やはり土日の方がお父さん、お母さんが多いです。平日は  
高齢者の方やもともと健康に興味がある方が多くいらしていると思  
います。ですから、これから健康づくりを進めるのにどうかと思  
ったのですがいかがでしょうか。

(佐々木副会長)

NHK共催ということでNHKの都合があるのですか。

(事務局)

これにつきましては、こういう事業がありますがいかがですかと  
いうことに対してこちらが申し込んだという形になります。日程に  
関しては、申し込みましたら日程はこの日ということで先方から指  
定されたというものです。

(田中委員)

こちらから日程のお願いはできなかったのですか。

(事務局)

そうですね。

(田中委員)

わかりました。

ではもう一つですが、ロードレースの日程が書かれていないので  
すが何日でしょうか。

(事務局)

すみません。10月9日です。

(神田委員)

ロードレースなのですが、市制50周年の記念大会として銘打って、先ほどのご説明では目標が4000人とのことでしたが、昨年度実績でも4030人の参加をいただいているというので、何十周年記念ということであればある程度数字も上乘せしたものを目標とするものであって、「スポーツを通じて健康づくりをする流山市」みたいなキャッチフレーズでどんどん流山市を売り込んだ方が良いのではないかと思います。ですからもう少し数字を高めを設定されてもよいのではないのでしょうか。関連団体も協賛していただいておりますし、予算ゼロというのは非常に厳しいのだとは思いますが、50周年を意識されるのであれば少し数字をアップされた方がよいのではないかと考えました。

(事務局)

昨年度までも4000人規模の参加者を招聘しているのですが、開催規模の限界と言いますか、予算建てをして警備できる人手であるとか、控えに受付けて集客できる規模だとか、そういったものを考えますと、現在は4000人くらいがマックスであり、これ以上となると予算建てもしなくてははいけませんし、コースも4000人ということで限界の走路なのです。これ以上になりますと、道路規制の時間も増え、狭い道路は危険ですので幹線道路を通さなくてはならないといった問題もでてくるのです。本当はもう少し増やしていきたいのですが、現段階では4000人が一つの目標です。

(辻野委員)

ここに書かれている事業は一般会計の予算の範囲ですか。

(事務局)

はい。一般会計です。

(辻野委員)

では社会教育費の10億円の中の、ということですね。

(事務局)

はい。

(辻野委員)

わかりました。

(佐々木副会長)

他にはありませんか。

では、南流山の地域交流センターは、南流山小学校、中学校から見るとどちら側、南側ということですか。

(事務局)

はい。まだ具体的にここですということは決まっていないのですが、南流山小学校の増設工事が行われますので、小学校の敷地の中に整備する予定です。

(佐々木副会長)

今の小学校の敷地の中ということは、校庭が狭くなるということはあるのですか。

(事務局)

やや土地の買い増しをして校庭が広がって、おそらくその一角にという予定です。

(佐々木副会長)

敷地が狭くなるわけではないのですね。

(辻野委員)

すみません。事業をやるということは何らかのお金はかかると思うのですが、それがゼロで事業をやるということはどういうことなのでしょう。ゼロということは事業ごとの独立採算でということであれば市としてはどのようにからんでいるのですか。

(事務局)

まず8番のふるさと宝くじのわくわく劇場の資料では予算がゼロとなっています。これは当初の予算の段階で予算の積み上げの段階では実施するかどうか確定しておりません。申し込んでいたという状況だったので当初予算でゼロとしております。

実際に事業をやるにあたって経費はかかるのですけれども、これにつきましては芸人さんの出演料といった経費がかかってくるのですけれども、そういったものの費用の多くについて、タイアップの自治総合センターが宝くじの事業ということで予算のかなりの部分を負担していただけるということになっております。流山市の負担は会場の使用料や簡単なケータリングといった少額ということで、実際やるにあたっては負担が大きくはないということになっております。今の現計予算で賄えるか、あるいは補正予算で対応するか、その辺ははっきり決めておりませんが、大きな負担ではないというふうになっております。

入場料収入については、流山市に半額くらいくると言う話もあるのですが、どのくらいのものかわかりませんので、その辺も含めて補正で対応するかどうかということを検討するということです。

(事務局)

同様にラジオ体操につきましても、当初予算はゼロで申込みをいたしましてのちに決定をしたものです。ほぼかんぽ生命とNHKで予算的には割り当てられまして、会場の準備関係、例えばピアノを用意する、会場設営、テント張りといったものについては市が負担しなくてははいけませんので、それにつきましては補正をたてて対応するという形になります。

流山ロードレース大会の予算がゼロということなのですが、これ

は参加費一人3,500円と協賛金を集めてそれに対応するという  
ことです。やはり4,000人規模の大会ですので、かなり支出も  
大きいものですから苦しいのは現状としてあります。ぜひ予算建て  
していただきたいなという希望です。

(辻野委員)

はい。わかりました。

(佐々木副会長)

アリーナが開館しまして順調かどうか知りたいのですが、いかが  
でしょうか。

(事務局)

昨日取りまとめは終わったのですが、稼働率の捉え方に少々手違  
いがありまして、見方によって捉え方が全く違ってくるものでは  
から、打ち合わせをいたしまして来週もう一度計算をし直すというこ  
とになっております。

ただ1週目からしますと、例えばトレーニング室ですと平均して  
100名は超える状況になりました。土日は200名前後、平日で  
も130～140人くらいの利用者がいます。メインアリーナ、  
サブアリーナについては、どういう条件で稼働率を出すかというこ  
ろで手違いがありました。例えば全面を5人くらいで使っていて  
も1コマとして数えるのか、4分の1面でも1コマとして数えるの  
かで稼働率が全く異なってきてしまいます。今現在、全面だろうが  
4分の1面だろうが1コマとして数えていくと85%くらいにな  
るのですが、実際に1日13時間のコマ数で考えると数字はぐっと  
下がってくるのです。その辺を計算しなおして今後の判断材料にし  
たいと思いますので、もう一度出しなおしたいと思います。

(佐々木副会長)

わかりました。大変そうですね。面積で考えるかコマ数か、時間  
の問題もありますし、ちょっと大変ですね。わかりました。

(事務局)

では、寺村選手のことについてお話しします。

(事務局)

マスコミでも話題になりましたが、寺村美穂選手、現在セントラルスポーツの所属になっておりますけれども、本人は流山市在住、小学校は南流山小学校、東小学校、東部中学校、千葉商科大学付属高校、日本大学に進まれました。現在は名都借にご家族と一緒に住まいということですが。

リオ五輪の選考会でありました日本選手権において200m個人メドレーで2分9秒87という自己新記録で優勝して見事リオ五輪の切符を手に入れました。

4月21日に市役所に表敬訪問をしていただきました。本人には今までの苦労やリオ五輪に向けての気持ちであるとか、そういったものをお話していただきました。流山市在住でオリンピック輩出は初めてということで市長はじめ市役所の職員も大変喜んでおり、市民とともに応援したいということで8月8日、9日と大会当日は、決勝にいくだろうということで両日パブリックビューイングを実施しようということになっております。

私事なのですが、寺村美穂さんが東部中学校に在籍していた時に私も東部中におりました。姉妹で大変運動能力に優れており、お姉さんも素晴らしい選手で全国大会でも優勝するほどでしたがお姉さんは腰痛に悩まされて引退されました。寺村美穂さんもケガに悩まされて2回膝の手術をして、努力して今回復活、夢がかなったということで、そういったことも含めたスポーツ振興ということで流山市の宝にしようということですが。ぜひパブリックビューイングで盛り上げていきたいと思っております。市としては予算建てをしまして懸垂幕を市役所に掲げ、東部中とキッコーマンアリーナに看板をたてようと検討しているところです。

以上です。

(佐々木副会長)

はい。よろしいでしょうか。他にありませんか。  
それでは次の読書活動推進計画策定についてご説明をお願いします。

(事務局)

子ども読書活動推進計画の策定についてご説明申し上げます。

子ども読書活動推進計画は、教育委員会のみならず市長部局、民間団体などとも連携して子どもの読書活動を進めていこうというものです。資料5をご覧ください。

**【資料5にしたがって説明】**

1 策定の背景

国が「子どもの読書活動の推進に関する法律」を平成13年12月に公布施行。同法第9条に『都道府県、市町村においても「子どもの読書活動推進に関する施策についての計画」を策定するよう努めなければならない』と定められている。

その後国が平成14年、20年、25年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定。

国の計画策定に呼応して千葉県も平成15年、22年、27年と計画を策定している。

2 全国の策定状況

(1) 都道府県：100%策定済

(2) 市町村（全国）

策定済：72.0%

策定中：6.6%

(3) 千葉県（54市町村）

策定済：44.4%（24市町村）

(4) 近隣市

柏市：第2次計画策定済（平成24年6月）

野田市：第1次計画策定済（平成18年3月）

松戸市・我孫子市：現在策定を検討中

その他、船橋市、市川市、八千代市は策定済

こうした中で流山市はまだ策定していない状況である。

### 3 国および県の目的、理念

#### (1) 国の目的・理念

- ・読書を通じて、読解力、想像力、思考力、表現力を養うとともに多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができる。
- ・読書や資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさ、知る喜びを体得し、知的探究心や真理を求める態度が培われる。
- ・読書活動は自ら考え、自ら行動することを後押しするものである。

#### (2) 県の目的・理念

- ・本の世界の楽しさを知ることや、生きていくために必要な知識や技能を身につけられることを挙げ、読書が果たす役割の重要性の高まりを指摘している。
- ・国の目的や理念を言い換えて説明している。

### 4 他市の基本方針比較

#### (1) 柏市（主管課・図書館）

- ア 子どもがいつでもどこでも読書ができるような環境の整備を謳っている。
- イ 子どもの読書活動推進のために、ボランティア等と連携し協働することを謳っている。
- ウ 子どもが読書の楽しさや喜びに触れ、親子が共に読書に親しむ「啓発及び普及・機会の充実」を謳っている。

次ページには野田市、八千代市、市川市、印西市を掲載しておりますが、環境の整備、機会の充実、さまざまな取り組みといったことを主な柱として基本方針に掲げております。

### 5 取組の種類

家庭、地域、学校等、民間団体、啓発活動といった5つの取り組みがある。

## 6 関係部署（流山市想定）

### （1）教育委員会

- ・ 学校教育部 教育総務課、学校教育課、指導課
- ・ 生涯学習部 生涯学習課、公民館、図書・博物館

### （2）健康福祉部 健康増進課

### （3）子ども家庭部 子ども家庭課、保育課

## 7 具体的な事業（各市の例）

### （1）読書環境の整備

- ・ 学校図書館資料整備
- ・ 学校での団体貸出利用
- ・ 幼稚園、保育所での団体貸出サービスの利用
- ・ 学童・児童センターなどの図書館団体貸出サービスの利用
- ・ 市立図書館の蔵書の構築
- ・ 市立図書館の蔵書の見直し
- ・ こども図書館の環境整備
- ・ 館内掲示・展示の充実

### （2）家庭、地域、学校、図書館等の連携

- ・ 家庭読書の普及活動
- ・ ボランティア等によるおはなし会の普及
- ・ 乳幼児向けブックリストの配布
- ・ 絵本・紙芝居の読み聞かせ
- ・ 図書館訪問事業
- ・ 「朝読書」等による読書習慣の形成
- ・ 学校図書館オリエンテーション
- ・ 学校図書館運営計画の作成
- ・ 司書教諭・学校司書の全校配置
- ・ 他機関との連携
- ・ 職員の本の知識・読み聞かせのスキル向上
- ・ 研修会への参加
- ・ 「赤ちゃんと楽しむわらべうた」の会開催
- ・ おはなし会の実施
- ・ 様々な児童行事の実施

- ・家庭読書の普及活動
  - ・調べ学習のツールの充実
  - ・「子ども読書の日」「文字・活字文化の日」に関する事業実施
  - ・ティーンズコーナーの充実
  - ・職場体験・町たんけん・インターンシップの受入
  - ・郷土資料コーナーの充実
  - ・ボランティア等との連携
  - ・職員の研修参加
  - ・市民・ボランティア団体への研修
- (3) 子どもの読書活動に対する理解・関心の向上の普及
- ・保護者への読書の意義の普及
  - ・「子ども読書の日」「こどもの読書週間」の周知
  - ・保護者に対する講演会・研修会
  - ・読書活動の案内・絵本の紹介の広報
  - ・様々な媒体での図書館情報の発信

以上のように様々な事業や行わなければならない課題等があります。

今回図書・博物館が主管課となることにつきましては、平成27年度中にもこの計画を進めようとしたが、現在の状況の把握が不十分であるということ、他市町村の実施しているものの調査が不十分であるということから計画を推進するまでにいたりませんでした。そこで図書・博物館ではこれ以降も進めてまいりたいということで、生涯学習審議会でもご審議いただきたくご説明させていただきました。

最後に策定のスケジュールについてご説明させていただきます。

- ・平成28年度前半：不足部分について検討する。
- ・平成28年度後半：アンケートの実施・資料の充実

この間に関係部署とのチーム作り、情報共有をしていきたいと考えています。

- ・平成29年度：素案の作成・検討

教育委員会議や生涯学習審議会でご意見をいただきながら進め

てまいります。そして平成31年4月策定を目指していきたいと考えております。

以上です。

(佐々木副会長)

ありがとうございました。私は平成18年の10月から審議会委員をしているのですが、この話題はこれまで1度も出てこなかったのです。読書推進については、流山市はもうすでにできていたのかと思っておりました。失礼いたしました。これから頑張っていかなくてはなりませんね。

ご質問等があればどうぞ。

(事務局)

すみませんが、補足をさせていただきます。

策定された後は5年ごとに計画を見直して練り直して、さらに計画を推し進めていくということを補足させていただきます。それから先ほど申しました関係部署が各々で行っていく事業もあるのですが、関連して共有して進めていく事業が重要だと思われれます。市役所だけでなく民間団体と協力して事業を進めていく、情報共有していかななくてはならないと思います。

(佐々木副会長)

5年ごとということには何かあるのですか。

(事務局)

これは特に決まっているのではないのですが、他の市町村、千葉県でもそうした形です。

(佐々木副会長)

実施事業の内容等がまだ見えてこないのかわからないのですが、計画を策定した後に、実施に入る時に、大元の生涯学習推進基本構想との年度のひっかかりはでてこないのですか。例えば、基本構想

は後期10年のうち3年で見直し、3年で見直し、4年で次に入るということになっておりますが、それとの関連はずれていてもよいのですか。5年ごとということでは構わないのですか。

(事務局)

2年間かけてしっかり計画を作っていきます。計画を作るためには、私どもは教育委員会ですから学校図書といったところを十分調整した上で、幼稚園、保育園、児童館、児童センター、そういったところの読書の関係、はたまた民間との関係などを十分に調整させていただきます。現行計画との関連性も重要な事項となってきます。計画を策定して3年又は5年で見直しということがあるのですが、上位計画との関連はその都度調整させていただきます。

(佐々木副会長)

その都度調整できるということですね。わかりました。  
何かございますか。

(後藤委員)

読書活動推進ということは計画があろうがなかろうが行われていることです。そういった中で小中学校の司書教諭の配置ということはどうなっていますか。

(事務局)

司書教諭は、ほぼ配置です。

(後藤委員)

学校ではいろいろな取り組みが行われているわけです。文科省でもいっている朝読書や学級図書を充実させて本に親しむ等、いろいろな方策が行われていると思いますが、本市としてはいかがでしょうか。

(事務局)

はい。学校教育部の内容となりますが、先日議会でも質問がありましてお答えした内容ですが、現状では、子どもの読書活動推進として市内の学校での朝読書の取り組み、地域の人材を活用して読み聞かせを行ったりしています。市独自では『音読ながれやま』という副読本を作成して音読学習を進めています。このような学習を通じて、有名な作品等の一部にふれることで児童、生徒の今後の読書活動にもつながっているということです。

なお、平成27年度の全国学力状況調査の結果なのですが、本市の小中学生の国語の読むことについては全国、県の平均点を大きく上回っているという結果であるときいております。

本日はこのような計画を策定していきたいということで、スケジュールを含めまして基本的な近隣市の策定状況などを紹介させていただきました。次回の会議ではもっと具体的な策定に向けた資料をご用意させていただきましてご審議をお願いしたいと思います。

(辻野委員)

国は100%、千葉県も策定が済んでいるとなると、県から市に対して策定を急いではどうかというようなことはないのですか。

(事務局)

そういったことは毎年問われております。実際に子ども読書活動については、学校の図書館も他の団体も事業としては進めているわけなのです。ですからどちらかというところの方が先行してしまったということが裏側にあるのではないかと思います。文化団体にも読書活動推進の会がありますけれども、こちらも国の法律、県の法律ができたところですぐに設立されたものです。こうした事業が先に進んでしまったというのが現状かと思えます。

(事務局)

おそらくなぜ、今この時に、これを作るのかということの背景だと思うのですが、国の取組み、県の取組み、近隣市の取組みがある中、流山市では子ども図書館の設置も柏市に続いて県下で2番目に

設置しております。そうした施設整備などハード面では読書活動の計画なしに実施しております。しかしながら、子ども読書を進めるための具体的な計画がないということもありまして、遅まきながら議会等からの指摘もございましたので、策定を具体的に進めるということになったというのが実際の背景でございます。

(辻野委員)

流山市は生涯学習推進計画があるので、以前に策定した文化芸術振興条例がなくても流山市はやっていたのだということと同じ捉え方でよいのですね。

(事務局)

そうですね。

(佐々木副会長)

この次に想定される資料とすれば、ここに上がっている各関連部署がどのような事業をやっているかということがわかりませんので、関連部署の事業の一覧がでてくるとわかりやすいですね。

(事務局)

ご審議していただく上でこうした資料があった方がよいというものがございましたらおっしゃっていただきましたら、こちらでご用意させていただきます。

(佐々木副会長)

結構とりまとめが大変かもしれませんね。関係部署にうまくひっかかっていればよいのですが、そうでない活動をしているところがあるかもしれません。

他に何かありませんか。

(田中委員)

中学生の娘に学校の図書室に行くのか質問をしてみたのですが、

娘は有難いことに本を読むのがとても好きで、小学校の時は休み時間等を使いながら図書室に行ったりしていたようなのですが、中学生になると行く暇がないと言われたのです。確かに借りてくることもなくなって、市立図書館は非常に活用させていただいて有難いと思うのですが、朝読書の時間はあるようですが、なかなか図書室には行く暇がないというのです。図書室に行く時間がないのに資料整備をしてもどうかなと思うのです。少しでも時間を作れることやそういったきっかけが計画を策定することでできるようになるのでしょうか。

(事務局)

はい。そうしたことが、学校の図書室も含めて利用促進を、機会をとらえてやっていこうというのがこの計画だと考えております。

(佐々木副会長)

学校も結構時間に追われておりますので、ますます大変になっていっていると思います。先生方のご苦勞も理解して、そういうところも考えながら進めて行かないと無理なことではいけないと思います。

皆さんでお知恵を出し合って良いものができると思います。ご協力をお願いいたします。

それでは他には何かありませんか。

ではその他についてお願いします。

(事務局)

では次回の会議の日程を調整させていただきます。

その前に1点だけ、お話をさせていただきます。

ただ今の議題にありました「子ども読書活動推進計画」をこの審議会のご協力を得まして、2年間で策定にこぎつけたいと思っております。現在、審議会委員の方々が12名で構成させていただいておりますが、図書関係に造詣の深い方ということで、学校の図書関

係につきましては学校の先生方がいらっしゃるのですが、団体活動をされている市民レベルの方の審議会の参画がございませんので、条例上では審議会は20名以内で構成できることになっておりますので、今後市内の読書推進活動をされている団体の方をピックアップさせていただきまして、佐々木副会長、辻野委員等に相談させていただきながら、最低でも1名の審議会委員の補充をしていきたいという形で考えておりますので、どうぞご理解いただきたくお願いいたします。

(佐々木副会長)

他にはありませんか。

(事務局)

それでは次回の会議の日程につきまして、この場で決めさせていただきたいと思います。子ども読書活動推進計画の関係もございまして、7月中に開催させていただきたいと思います。

つきましては、佐々木副会長、の事務局の都合もございまして、7月7日(木)または8日(金)を考えておりますが、皆様いかがでしょうか。時間は午後2時からとなります。

(鈴木委員)

8日はいじめ問題対策協議会を行っております。

(事務局)

7日は大丈夫でしょうか。

(鈴木委員)

はい。

(事務局)

他の方のご都合はいかがでしょうか。

それでは7日でいかがでしょうか。

はい。次回は7月7日木曜日の午後2時からということでお願いいたします。場所は講義室を予定しておりますが、あらためてご案内をいたします。

(佐々木副会長)

本日配布された資料で、全国社会教育研究大会千葉大会が10月26日から28日に開催されます。

10月26日は全国の事務局と県の事務局の打ち合わせ日となっております。一般の方は10月27日、28日となりますので、ご参加いただきたいと思います。私は実行委員となっておりますので参加はするのですが、分科会等をゆっくり見ることができる立場ではなく、お手伝い係で動き回らなくてはなりませんので、審議会の皆様にぜひご参加いただきたいと思います。

なお、参加費1人5,000円とありますが、こちらは東葛社会教育連絡協議会で用意があります。1市9人までの予算はございますのでぜひご参加ください。ただし現地までの旅費につきましては自己負担でお願いします。

人数把握のために6月中に仮の参加人数の集約がありますので、生涯学習課の長岡係長にご連絡していただければと思います。

開催要項の3.趣旨については調整中ということです。関心のある方はぜひご参加下さい。5分科会ありますが、第3分科会では地域の教育力の向上ということで松戸市の福留さんが講師をされます。大変わかりやすく、まちづくりにも関係しますのでぜひお聞きください。宜しく申し上げます。

以上です。

他にはございませんか。

(事務局)

それでは、平成28年度第1回流山市生涯学習審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。

( 閉 会 )